

第4回 地域・市民観光ゼミナー 「やさしい日本語」 (やさしい日本語ツーリズム)



令和7年12月17日 (水)

観光商工課

観光プロジェクトマネージャー

辻本 千春

「やさしい日本語」

- やさしい日本語にすると、機械翻訳に入力した時の精度も上がります！
- 「やさしい」には「易しい」(easy, plain)、「優しい」(gentle, kind, caring)の意味が込められています！
- やさしい日本語に一つの正解はありません。相手によって何が「やさしい」のかを考えながら、色々な方法を試してコミュニケーションをとっていくことが重要です！
- 全ての場面でやさしい日本語を使うべき、というわけではありません。時と場合に応じた使い分け、何をどこまで伝えるかの判断が重要です！

本題に入る前に・・・ 簡単な自己紹介

- 2008年12月 近畿日本ツーリスト株式会社 退社
 - * 2005年～2008年 バンコク事務所長
- 2011年4月から大学教員 2つの大学を経て
- 2022年3月 流通科学大学（神戸市）観光学科教授
定年退職
- 2023年8月 えびの市企画課
- 2024年4月 株式会社えびの（地域商社）
- 2025年1月 観光商工課
観光プロジェクトマネージャー
- 2025年11月 防災士資格取得、やさしい日本語講師資格取得
- 学位 博士：創造都市（大阪市立大学（現大阪公立大学）大
学院、2014年取得）

観光・行政にかかる資格

- ◆ 総合旅行業務取扱管理者 (R7年8月、5年更新修了)
- ◆ キャリアコンサルタント (国家資格)
- ◆ メンタルヘルスマネジメント 2 級 (商工会議所)
- ◆ やさしい日本語認定講師資格 (R7年11月取得)
- 12月6日 (土) 市民大学講座「やさしい日本語ツーリズム」
講義の講師
- 12月17日 (水) 第4回地域・市民観光ゼミナー「やさしい
日本語」
- ◆ 防災士 (R7年11月合格、登録は12月以降)

目次

背景

1. 「やさしい日本語」とは
2. なぜ有効なのか
3. 誰が対象
4. 外国人の日本語学習状況

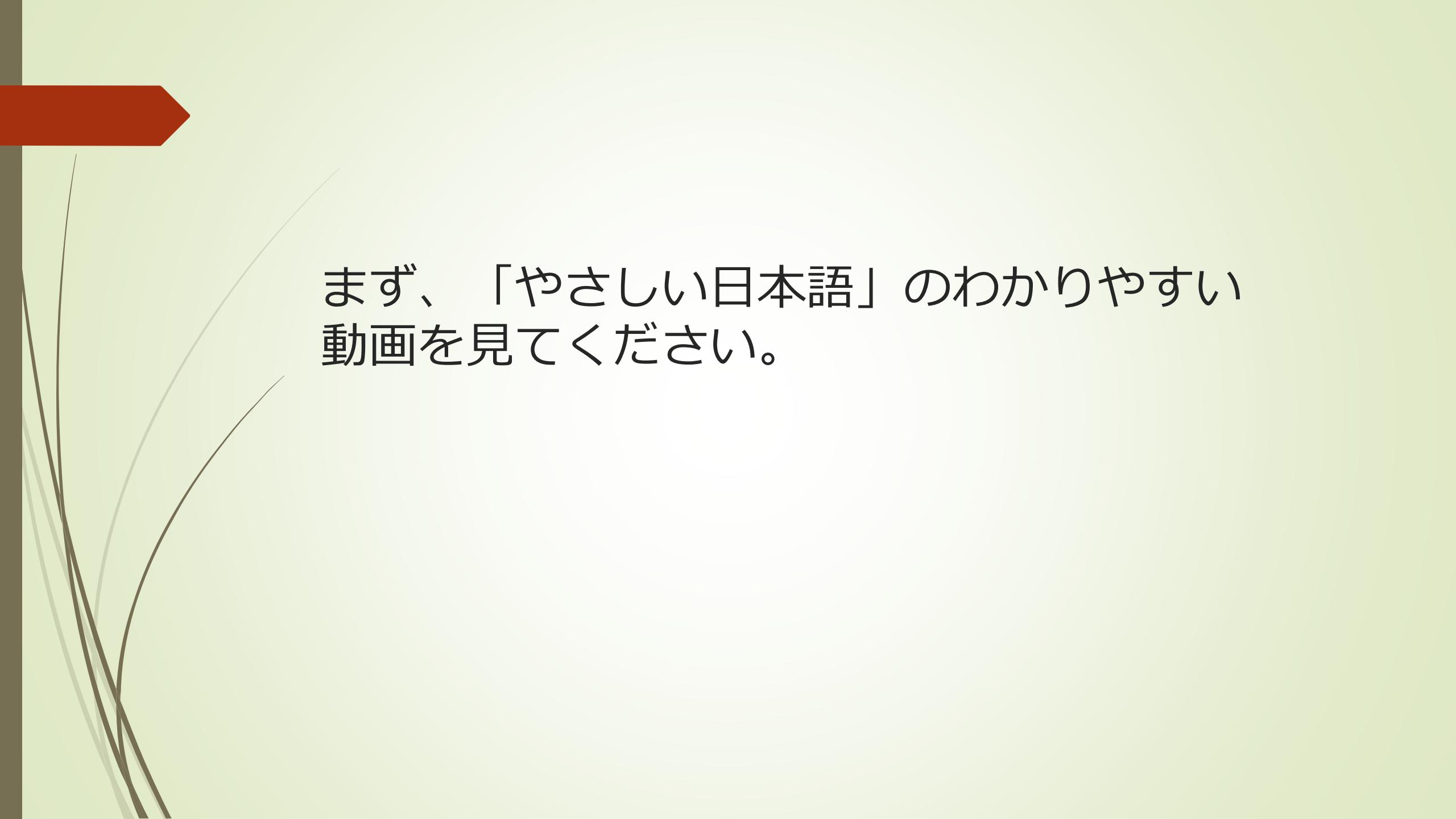
【2大ポイント】

- A. 「ハサミ」の法則
- B. 「3文クッキング」



【実践編】 その他のポイント

1. 尊敬語・謙譲語は使わない
2. 漢字の言葉ではなく、和語を使う
3. オノマトペ（擬音語・擬態語）を使わない
4. 慣用句を使わない
5. 漢字にはふりがなを振る



まず、「やさしい日本語」のわかりやすい動画を見てください。

1. 「やさしい日本語」とは

1-1 定義

- ▶ やさしい日本語とは、日本語を母語としない外国人など、日本語のコミュニケーションに何らかの困難を抱える人のために、語彙や文法などを調整した日本語のことです。
- ▶ 普段使われている言葉を、外国人にも分かるように配慮した簡単な日本語のことです。日常的な場面や身近な話題で使われる日本語を「ある程度」理解できる人が使うレベルです。



《参考》日本語能力試験JLPT N1～N5 日本語能力の目安

- ▶ **N1** 幅広い場面で使われる日本語を理解することができる
- ▶ **N2** 日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる
- ▶ **N3** 日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる
- ▶ **N4** 基本的な日本語を理解することができる
- ▶ **N5** 基本的な日本語をある程度理解することができる

1-2 背景

- 1995年の阪神・淡路大震災で、日本にいた多くの外国人が、日本語を十分に理解できず、必要な情報を得られないがために適切な行動を取ることができず、被害を受けました。
- 考案当初は、災害時の情報伝達手段として使われていましたが、現在では、自治体や外国人支援団体で、生活情報や観光情報などを伝える手段としても使われるようになりました。

2. なぜ有効なのか

- ▶ 外国語が分からぬ日本人職員でも、「やさしい日本語」のルールさえ習得すれば、誰でも迅速に情報を発信することができます。
- ▶ そのため、「やさしい日本語」は、外国人への情報発信として、大変有効な手段だと考えられるのです。

3. 誰が対象なのか

- ▶ 「やさしい日本語」は外国人への情報伝達を目的に考案された言葉ですが、普通の日本語より簡単で、分かりやすい言葉に変換されていることから、**小さな子どもや高齢者、障害を持った人などにも有効な情報伝達手段**だと考えられています。
- ▶ 外国人対象の文章だけでなく、**子ども、高齢者、障害を持った人などを対象に情報を発信する際にも、是非、「やさしい日本語」を活用してください。**

4. 外国人の日本語学習状況

4-1 《参考》台灣人で日本語を話す人の調査

(出所: 電通 2016年)

調査結果サマリー

- ①18歳から64歳までの台灣人男女（以下「台灣人」）で、日本語が少しでも会話できると答えた人は41.5%。台灣人が3人いれば8割の確率で日本語を話せる人がいる。
- ②日本語学習経験者は60.4%。現在学習中のは12.8%、人口175～240万人と推計。独学者の割合が大きく、現役学校学習を対象とする国際交流基金の日本語教育機関調査の結果を大きく上回る。



③日本語学習経験者の訪日経験率は83.1%。18歳から24歳の男女も半数以上が訪日経験あり。

④日本語学習研究者のうち66.1%は、日本旅行で日本人と日本語で話したいと思っている。日本人に英語を話してほしいと思っている割合は14.4%。



③日本語学習経験者の訪日経験率は83.1%。18歳から24歳の男女も半数以上が訪日経験あり。

④日本語学習研究者のうち66.1%は、日本旅行で日本人と日本語で話したいと思っている。日本人に英語を話してほしいと思っている割合は14.4%。

外国人住民から見たやさしい日本語のニーズに関する 調査 報告書から

◆調査の目的

外国人住民が、どのような場面でやさしい日本語での対応があると良いと考えている

◆調査対象

以下のいずれかに当てはまる一都三県在住・在勤・在学外国人

205名（全44か国・地域）

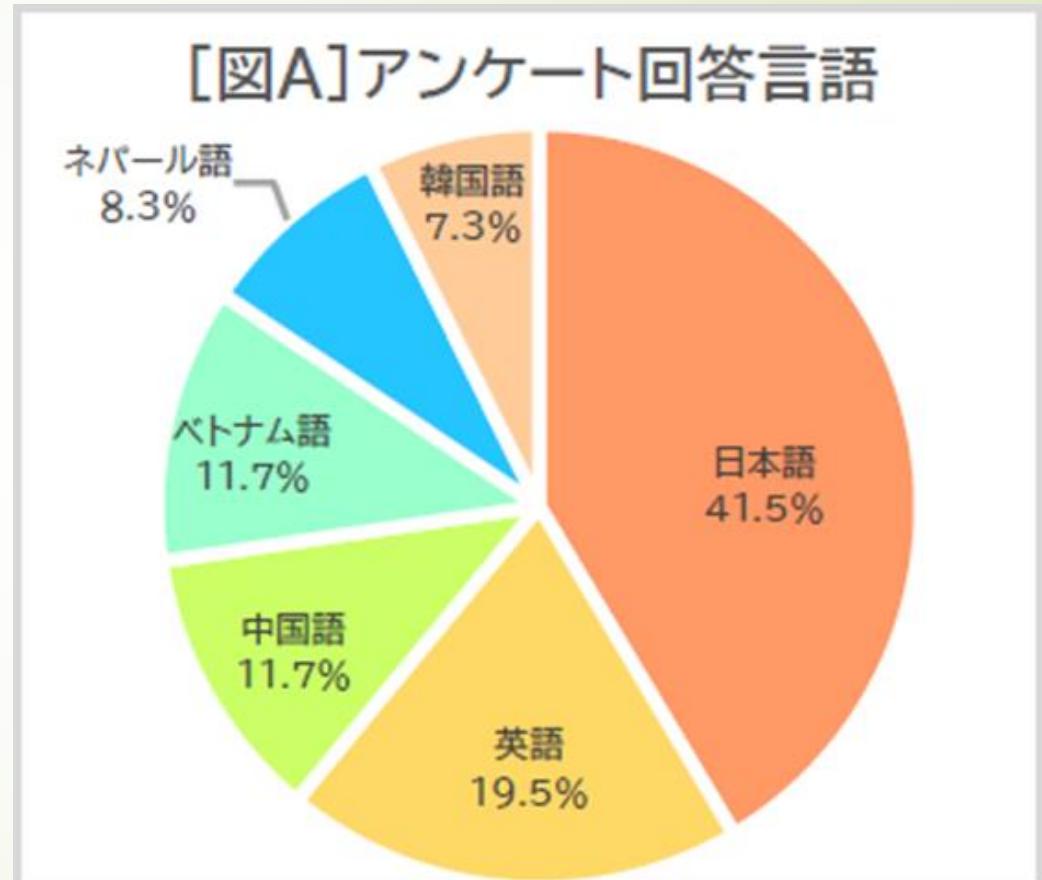
①現在の日本語能力が初級レベル（日本語能力試験

JLPT N3）以下

②現在の日本語能力は初級レベル（日本語能力試験

JLPT N3）より上だが、

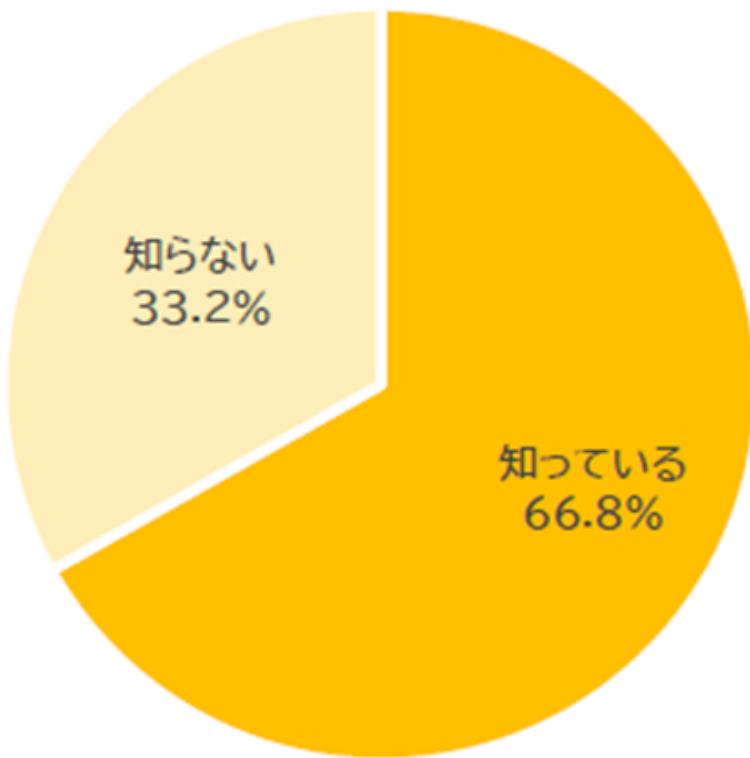
来日時の日本語能力が初級レベル以下



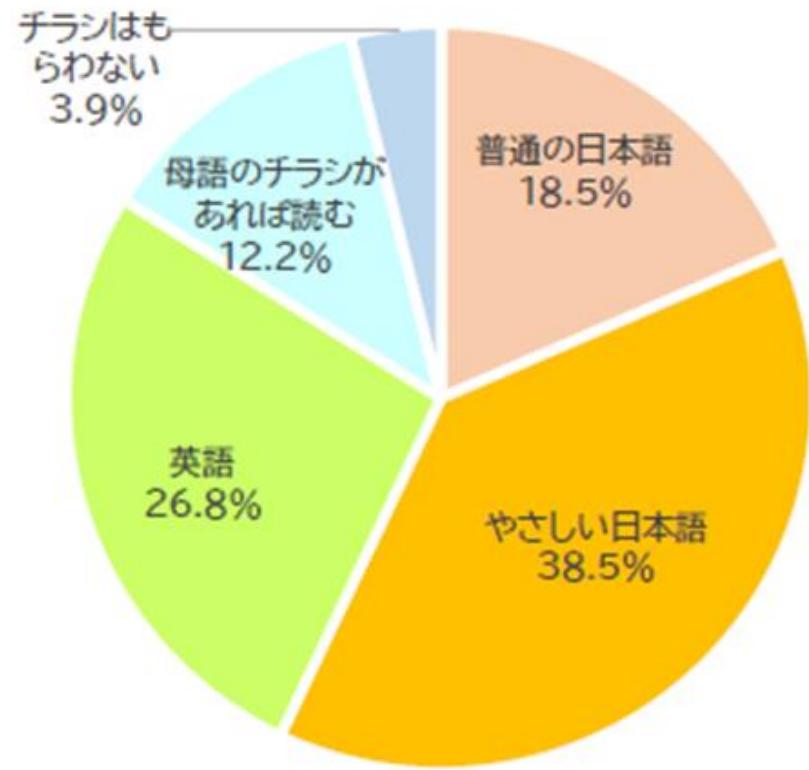
出所：一般財団法人 東京都つながり創生財団

1. 外国人住民から見たやさしい日本語のニーズに関する調査

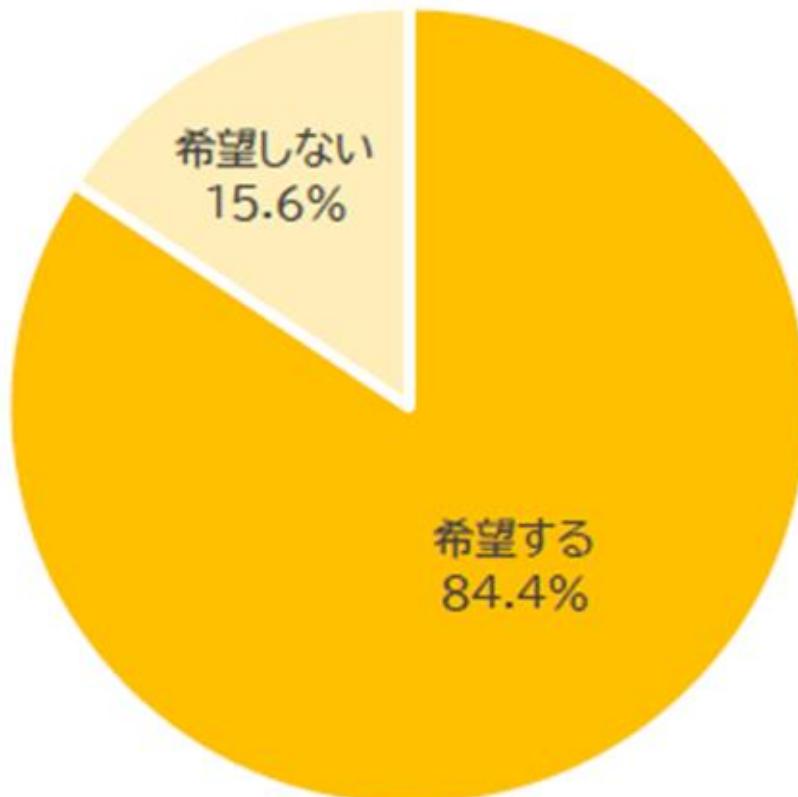
[図1]やさしい日本語の認知度



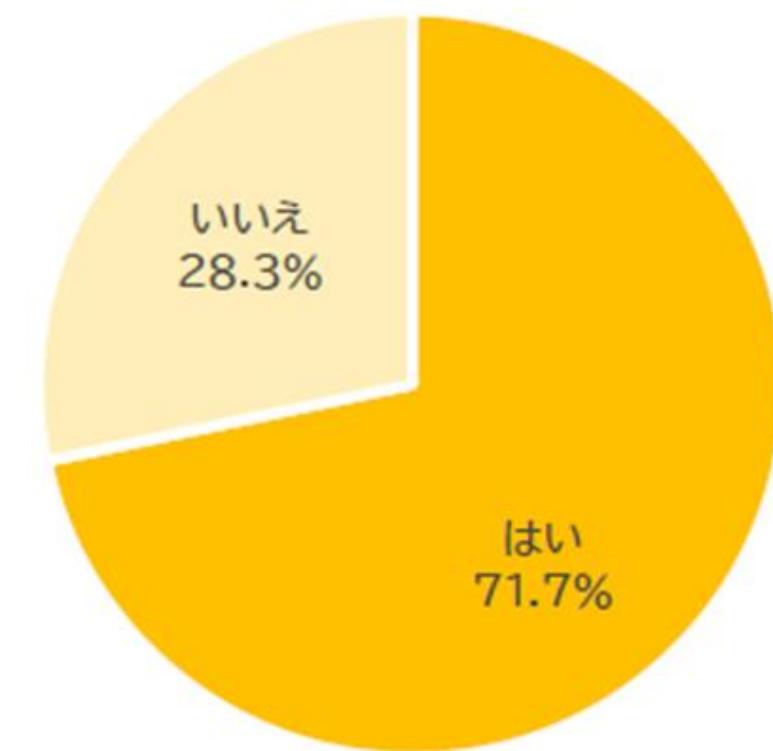
[図2]知りたい情報のチラシを
どの言語で読みたいか



[図3]やさしい日本語による
情報発信を希望するか



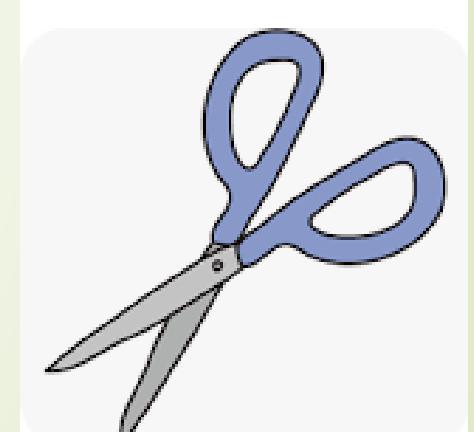
[図5]日本人が話す日本語は
難しいと思うか



出所：法務省出入国在留管理庁2024年12月末現在



【重要】ハサミの法則



【重要ポイント】

①『ハサミの法則』

はっきり言う、さいごまで言う、みじかく言う

- 「ハサミの法則」を使うと、外国人に日本語が伝わりやすくなる。
- やさしい日本語で話す一番の心得は、「ハサミの法則」である。
- 「はっきり言う」「さいごまで言う」「みじかく言う」の最初の文字をとって、「ハサミ」。



はっきり言う、さいごまでいう、みじかく言う

➤ 「はっきり言う」

口をちゃんとあけて発音するということ。
「ゆっくり言う」こととは違う。ゆっくり言いすぎるとむしろわかりにくくなる。

➤ 「さいごまで言う」

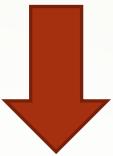
文末まできちんと話すこと。「それはちょっと……」とか、「それ、違うから」のように、中途半端な話し方は、相手が戸惑う。



➤ 「みじかく言う」

文字通り一文を短くすることで、ハサミの法則の中で一番大事である。一文が長すぎると相手が理解しきれず、内容が伝わりにくくなります。

例：大阪に住んでいる友人と2年前に渋谷でお好み焼きを食べたのですが、友人は「こんなん自分が作った方がおいしいわ」と言って、去年私が大阪に行ったときに、お好み焼きのホームパーティをしてくれました。



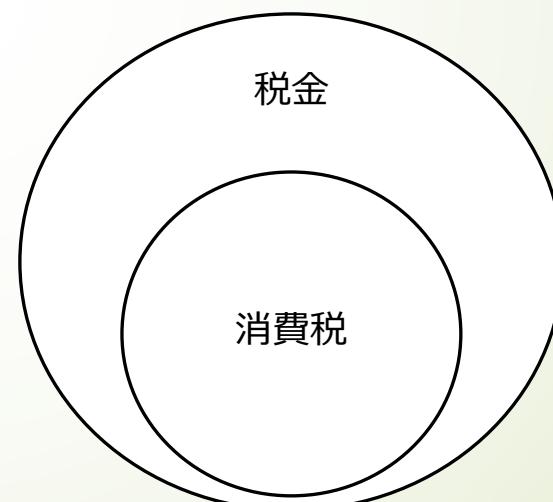
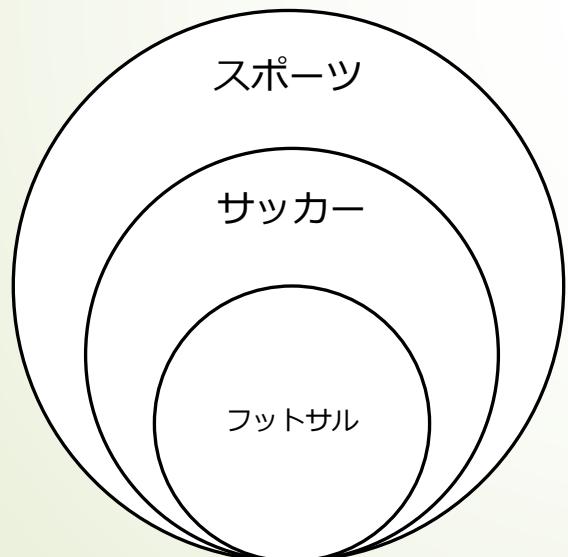
- ✓ 私の友人は、大阪に住んでいます。
- ✓ 私と友人は、2年前に渋谷に行きました。
- ✓ 私と友人は、お好み焼きを食べました。
- ✓ でも友人は、「これはおいしいないです。私が作る方がおいしいです」と言いました。
- ✓ 私は、去年大阪に行きました。
- ✓ 友人は私のために、お好み焼きのホームパーティをしてくれました。

【重要】3文クッキング



【重要】3文クッキング

- ▶ 基本ルール1：当ててもらうのが目的
- ▶ 基本ルール2：1文は短ければ短いほど良い
- ▶ 基本ルール3：相手が知っている言葉はそのままつかえる





分の作り方のポイント

- ▶ その言葉の「本質をとらえる」こと
- ▶ 似た言葉との「違いを際立たせる」こと



練習問題

1. 「月極駐車場」は何ですか
2. 「休診」は何ですか

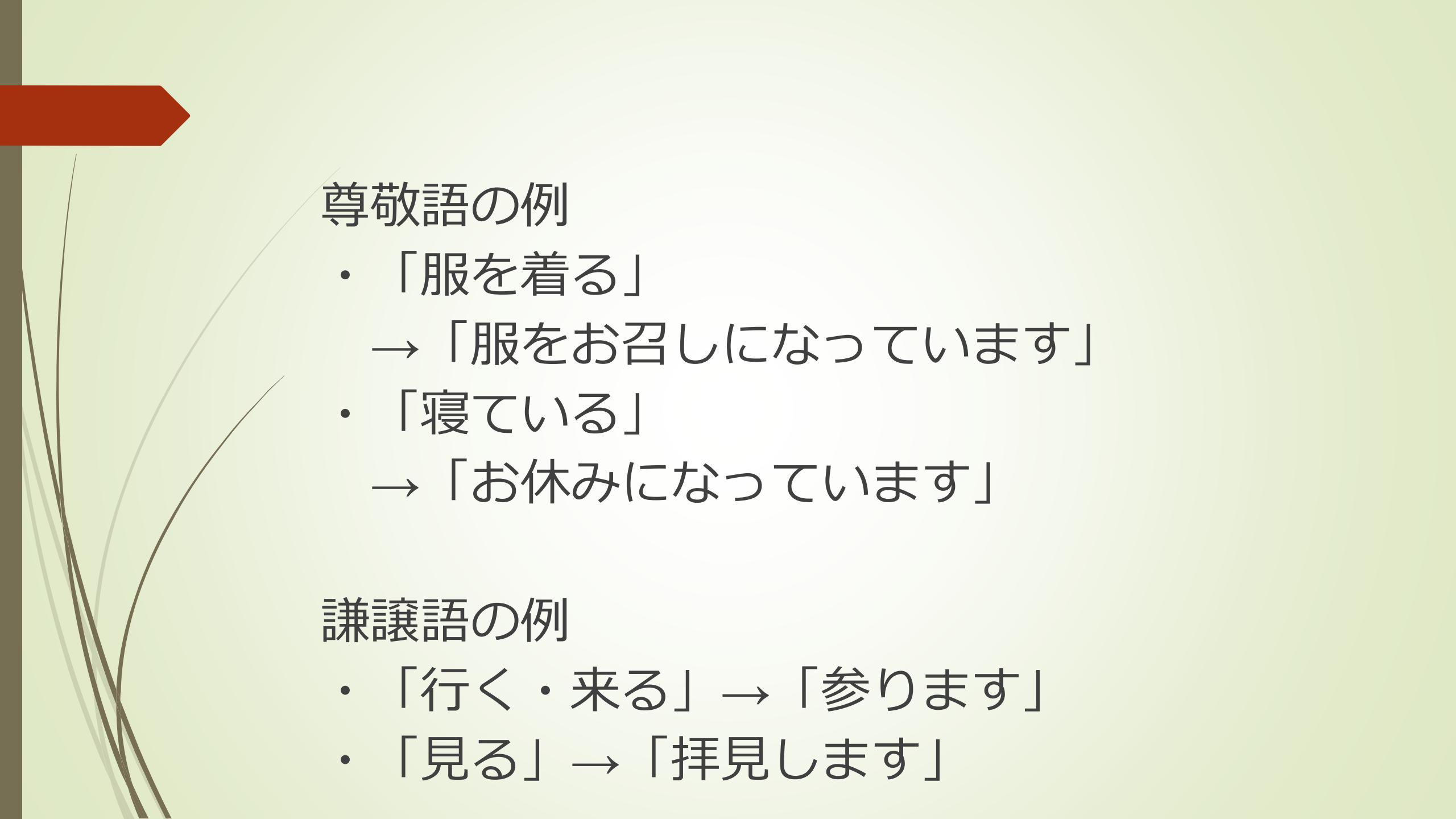


【実践編】 ポイント

1. 【ポイント】 尊敬語・謙譲語は使わない。

「～です。～ます。～ください」などを使う。

- 日本語を学ぶ外国人の多くが難しく感じるのが、日本の敬語です。
- 特に、話し相手や話題の主の動作・状態を高める「尊敬語」と、話し手がへりくだる「謙譲語」は、外国人にとって理解しにくいものです。

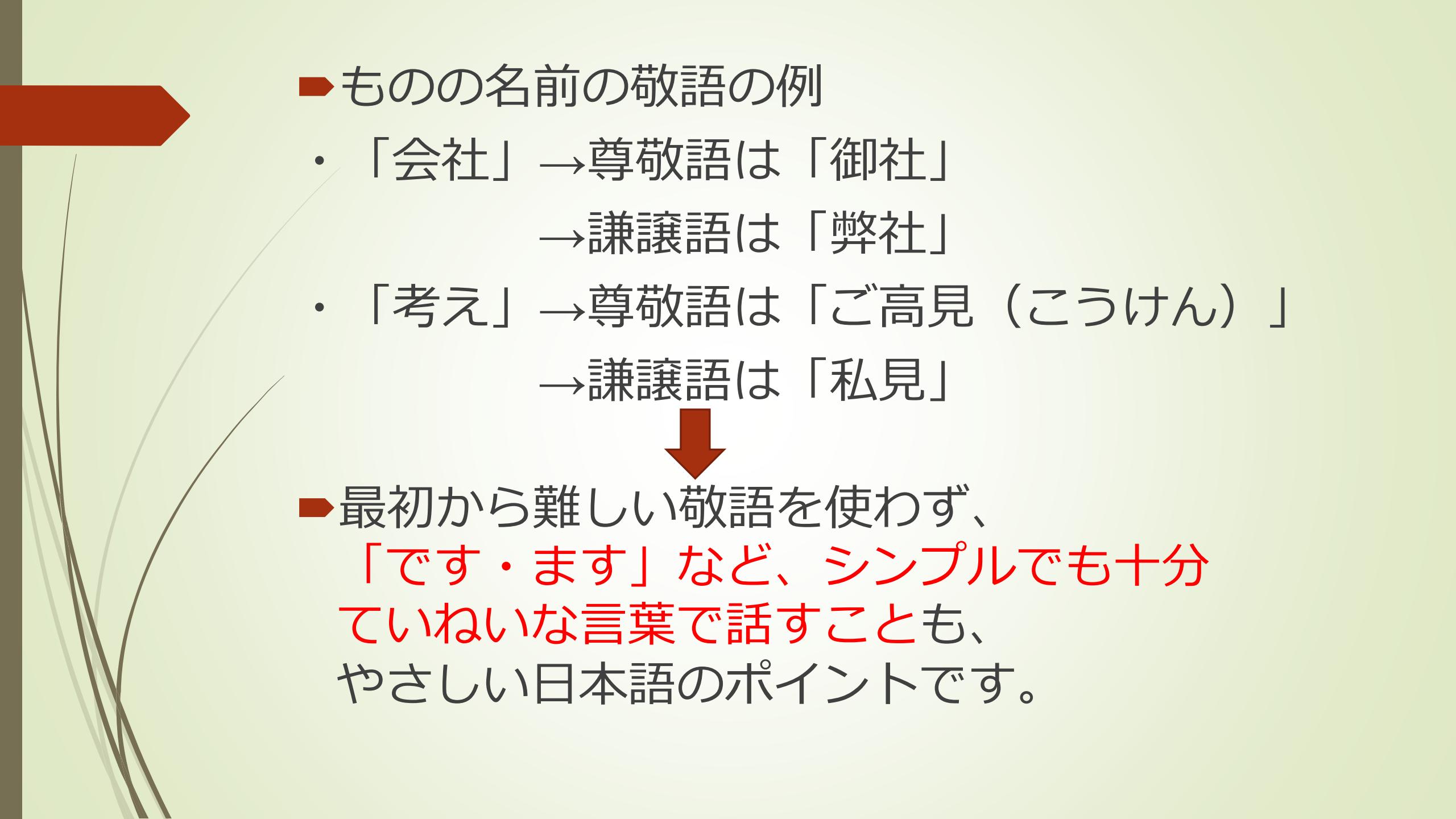


尊敬語の例

- ・「服を着る」
→「服をお召しになっています」
- ・「寝ている」
→「お休みになっています」

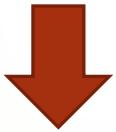
謙譲語の例

- ・「行く・来る」→「参ります」
- ・「見る」→「拝見します」



▶ものの名前の敬語の例

- ・「会社」→尊敬語は「御社」
→謙譲語は「弊社」
- ・「考え方」→尊敬語は「ご高見（こうけん）」
→謙譲語は「私見」



▶最初から難しい敬語を使わず、 「です・ます」など、シンプルでも十分 ていねいな言葉で話すことも、 やさしい日本語のポイントです。

2. 【ポイント】漢字の言葉ではなく、和語を使う

注：和語・・・元々日本で使われていた言葉

例）山、ふるさと、過ごす、人など

漢語・・・中国から入ってきた言葉

例）規制、寺院、混雑など

- ▶ 日本語を勉強する多くの外国人にとって、漢字は本当に難しいものです。
- ▶ 書き方も大変ですが、同音異義語、つまり同じ読み方で違う意味の漢字は、聞いてもよくわかりません。
- ▶ 例えば、人を「招集する」も、いやな匂いを「消臭する」も、読み方は同じ「しょうしゅうする」です。



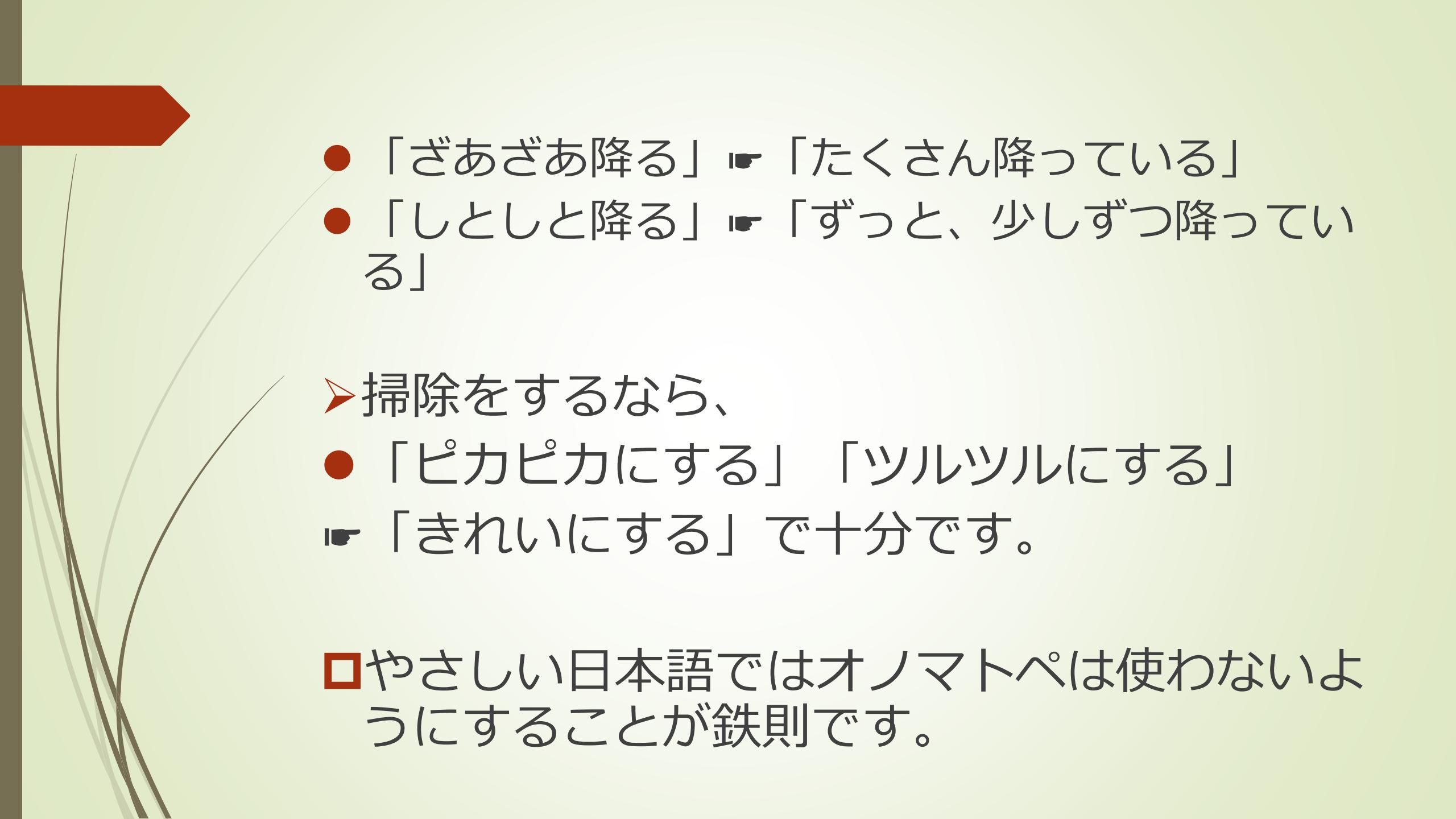
▶やさしい日本語では、そのまま意味を表す
「和語」をできるだけ使います。

- ・人を「招集する」 → 「人を集め」る
- ・匂いを「消臭する」 → 「匂いを消す」

といえば、簡単にわかります。

3. 【ポイント】オノマトペ（擬音語・擬態語）を使わない

- ▶ オノマトペは数えきれないぐらいありますが、それぞれピッタリした場面で使われます。
- ▶ 日本の家庭では、親子の会話で日常的にオノマトペを使うので、子どもはすぐにそれを覚えます。
- ▶ しかし、外国人がオノマトペを覚えるのは、漢字と同じぐらい大変ですし、キリがありません。

- 
- 「ざあざあ降る」 ➡ 「たくさん降っている」
 - 「しとしと降る」 ➡ 「ずっと、少しづつ降っている」

- 掃除をするなら、
- 「ピカピカにする」 「ツルツルにする」
➡ 「きれいにする」で十分です。

□やさしい日本語ではオノマトペは使わないようになることが鉄則です。

4. 【ポイント】慣用句を使わない

- 「腕を上げる」
⇒ 「本当に腕を上げる」ことだけでなく、「上手になる」
- 「口が固い」 ⇒ 「秘密をいつも守る」
- 「首が座る」 ⇒ 「赤ちゃんの首がしっかりしてくる」という意味があります。



- ▶ このように文字通りでない、別の意味のある言い方を「慣用句」といいます。
- ▶ 慣用句は、かんたんな言葉を組み合わせてとても豊かな表現ができます。しかしこれも外国人にはとてもわかりにくい言い方です。
- ▶ やさしい日本語では、慣用句を使わないようにします。



5. 【ポイント】漢字にはふりがなを振る

同音異義語だけでなく、同じ漢字でいろんな読み方がある場合も大変難しいです。

- 「アメリカ人の方の方が、背が高いです」
⇒外国人は「方」が2つ続いているのを、タイプミスだと思う
- ⇒「アメリカ人の方（かた）の方（ほう）が」と読みがなを振らないとわかりません。



「彼は、実家のこと大事に思っています」

⇒ 「大事」を「だいじ」と読むか、「おおごと」と読むかで、意味が全然違ってきます。

⇒ 「だいじに思っている」は「大切に思っている」、「おおごとに思っている」は「おおげさでめんどうくさいことだと思っている」ということになります。